

## 職員インタビュー

# 「国立市で働くって、どうですか？」

国立市の職員は、  
どんな思いを持って  
働いているのでしょうか。



様々な経歴を持つ職員  
6名が集まり、副市長を交えて  
仕事への思いを語りました。

# 人物紹介

出身地  
これまでの経歴  
趣味、好きなこと  
その他

## 竹内 光博（副市長）

平成 29 年 4 月 1 日就任



東京都三鷹市  
昭和 54 年国立市入職  
約 12 年間在職した後、民間企業に転職。  
平成 29 年に副市長に就任し、約 25 年の  
時を経て、国立市へ戻ってきました。

## 赤尾 政則

（職員課 課長補佐）

平成 22 年度入職（11 年目）



埼玉県  
民間企業に約 1 年勤務した後、国立市へ  
転職。現職場は 5 部署目。  
サッカーJリーグ浦和レッズのサポーター。  
「試合のある日は定時退庁！」

## 大西 瑞穂

（課税課 諸税担当係長）

平成 21 年度入職（12 年目）



香川県  
大学進学の際に上京して、  
転職で入職。現職場は 3 部署目。  
3 年前に係長に昇任。家庭と仕事の両立を  
目指し、日々奮闘中。

## 鈴木 歩

（市長室 主任）

平成 23 年度入職（10 年目）



秋田県出身、福島県育ち  
新卒で国立市に入職。  
図書館に 6 年間勤務後、現部署へ異動。  
趣味はカメラ。お笑いも好き。学生時代は  
落語研究会に所属していた。

## 石川 隆一郎

（福祉総務課 主任）

平成 25 年度入職（8 年目）



山梨県  
新卒で国立市に入職。  
現在 3 部署目でケ-ス-カ-をしている。その前は、  
社会福祉協議会へ出向していた。  
猫が大好き。飼えないので探して戯れている。

## 岩崎 慶太

（環境政策課 主事）

令和 2 年度入職（1 年目）



千葉県白井市  
今年度入職したばかり。  
前職は社団法人に勤務していた。  
キャンプとカメラが趣味。  
本日は少し緊張しております。

## 蘭部 江里香

（情報管理課 主事）

令和 2 年度入職（1 年目）



東京都練馬区  
民間企業に 2 社勤めた後  
市役所に転職。今年度入職したばかり。  
アクティブな趣味が多く、冬はスノーボード、  
夏には海へ。サーフィンも始めました。

## なぜ公務員？なぜ国立市？

まず、皆さんが公務員になろうと思った理由を教えてください。

石川：自分は新卒で国立市に入職しました。

将来就く仕事について、「民間企業」か「公務員」という選択肢を考えたときに、民間企業で会社に愛着をもち、会社の利益のために働くという考え方が、自分にはしっくり来ませんでした。人と人との繋がりを大切に、**直接「ありがとう」と言ったり言われたりしながら、一緒にまちづくりをしていきたい**と考え、国立市を受験しました。ちなみに国立市しか受験していません。

一同：(驚き)

石川：小さい頃に家族で訪れた際に、田舎育ちの自分から見ても**自然豊かな環境**があり、惹かれました。受験前には市内を歩き回り、市民の方へ直接お話を聞いたりしました。併願しなかった分、必死でしたね(笑)

赤尾：背水の陣！受験生にとってはプレッシャーになっちゃうかも(笑)同じく新卒で入職した鈴木さんはいかがですか？

鈴木：私の場合は、大学時代、周囲には公務員志望の学生が多い学部だったのですが、自分自身はあまり公務員になるイメージがありませんでした。人が生きていく中で不可欠な「衣食住」に関わる仕事がしたいと思いながら、民間企業への就職を考えていました。

しかし、就職活動をしていく中で、大学で学んできた「行政」や「まちづくり」ができる仕事は、やっぱり公務員なのかな？と思うようになり、受験を決めました。

ただ、大学で受けた「適職検査」では、なんと「地方公務員」が最下位という結果だったんです！私、もしかして向いてないのかな？と思いつつも、縁あって入職することができました。

民間企業から転職した方はいかがですか。

園部：私は民間企業に2社、計6年勤めてから転職してきました。お客様と接することは好きだったのですが、今後の自分のライフステージを考えたときに、**ワークライフバランス実現という観点から、公務員を意識**するようになりました。鈴木さんと同じく、生活から切り離すことのできない「衣食住」に関わる仕事をしたいという思いもありました。

国立市は、学生時代に友人が住んでいたのので何度か訪れたことがあり、フランスを彷彿とさせる、**景観の保たれた街並みに感動**したことが受験のきっかけとなりました。一方で、谷保地域など自然豊かな地域もあり、小さな市の中に様々な面があることに魅力を感じています。

大西：私は大学時代にデザインを学んでいました。デザイン関係の仕事に関わっていたこともあったのですが、もともと興味があった「まちづくり」をするためには、やはり基礎自治体なのかと思いつき、受験することにしました。もともと少し滞在していた経験があったり、大学のゼミの先生が国立市民だったり、国立市には何かと縁を感じています。

赤尾：国立市を褒めてもらえると、なんだか嬉しい(笑)自分の場合は、大学時代、周囲では産業界を目指している友人が多く、自分自身も公務員という選択肢はありませんでした。当時から人の役に立ちたいという思いがあり、営業職として民間企業に勤めていました。しかし、実際に働く中で、お客様のための営業活動ではなく、自分のノルマのための営業活動をしてしまっていることに気付き、自分のやりたい仕事と違う気がして、ダイレクトに人の役に立つ仕事を志し、公務員への転職を決めました。国立市の大学に通っていたことと、受験を考えたときにちょうど国立市が募集をしていたことから、縁あって入職することができました。

岩崎：私は、前職では社団法人に勤めていました。環境省からの仕事を請け負って、環境保全に関わる仕事をしていました。ワークライフバランスという意味では恵まれている職場だったのですが、環境保全について計画から携わりたいという思いがあり、基礎自治体での仕事を考えて、国立市を受験しました。

## イメージと違ったこと

実際に働いてみて、イメージと違ったことなどありましたか？

**大西：**公務員は「変化がない業務」という印象がありました。そのイメージを覆す出来事となったのが、数年前に参加した、**プロジェクトチームとしての活動**です。市に積み立てられている基金をどのように活用するかを検討するものだったのですが、若手職員で組織されたチームに検討が一任され、私たちが**提案した事業が政策として実現するという経験をしました**。若手のうちから何かを任せてもらえることや、新しい提案を発言できるということは予想外でした。

**園部：**私は柔軟な組織風土が意外でした。公務員って、もっとルールでガチガチというイメージがあったので。あとは、部署ごとにすごく独立している印象です。隣に位置する部署でも全く別の仕事をしているので、もし異動することになったら、転職するくらい違う仕事が経験できるのだらうと思います。

**岩崎：**自分も、部署が違つと「別の会社」というくらいの印象で不思議に思っています。自分が入職して間もないこともあり、他部署の方とは少し距離を感じてしまうこともあります。

**鈴木：**部署が変わると環境が全然違うのはその通りです。特に私は、出先（図書館）から本庁への異動だったので、環境がガラッと変わりました。はじめは戸惑うことも多かったですが、今は他部署の方からも話しかけていただけたりアドバイスをいただけたりすることもあり、助かっています。おふたりとは逆の回答になりますが、業務は独立していても、**部署を越えた仲間意識がある**と感じられることが、イメージと違った部分ですね。

**赤尾：**たしかに園部さんと岩崎さんのように入職直後だと壁を感じることもあるかもしれないですね。もう少し経つと、鈴木さんのように感じるようになるかも。

## プロジェクトチームとは？

市役所の仕事の中には、ひとつの部署だけで対応することの難しい「横断的課題」も存在します。

このような場合、部署を横断して集まった職員でプロジェクトチーム(PT)を組織し、多角的な視点から課題解決のための企画や調査を行います。

これまでも、少子化対策 PT、企業誘致推進 PT 等、様々な場面で PT による検討を行い、市政に反映させてきました。

PT メンバーが公募される場合には、自分が興味のある業務に携わることのできるチャンス！特に若手職員には、自部署以外の業務を経験できる貴重な機会となります。

**鈴木：**働き方についてもイメージと違いました。公務員は「土日休み」「5時に帰る」と思っていたところ、私をはじめに配属になったのがシフト勤務のある図書館だったので、いきなりイメージが崩れました。

**石川：**自分は、入職して「子ども家庭部 保育幼稚園係」に配属されるという辞令を受けたときは、保育園で子どもと会話しながら笑っているイメージが頭に浮かんだのですが…(笑)実際にはかなりハードな事務を経験することになりました。とても辛かったですが、この時に市役所のひと通りの事務を学ぶことができ、今ではとても感謝しています。

**岩崎：**私は事務職での入職ですが、現場での仕事が多いことに驚きました。今日も公園の地下で作業をして噴水を出すという仕事をして来ました。

**一同：**市役所にそんな仕事があるなんて知らなかった！

## 職場での人間関係・昇任制度

他部署とのつながりという話題が出ましたが、全体的な人間関係はいかがですか。

**鈴木：**現在は課の人数が少ないこともあり、**仕事だけではなくプライベートの話もできる関係が築けている**と感じます。職場外でも、共通の職員を介して他部署の職員と BBQ に行ったりしたこともあります。



他市の職員と話した際には、「国立市は仲が良い」「アットホーム」と言われました。大きな自治体だと職員同士で顔も知らないケースが珍しくないようですが、国立市では信じられないです！

**赤尾：**私は上司との距離が近いと感じています。若い職員でも部長に直接話を持ち掛けたりできるのは、**国立市のような小さな組織なら**ではですね。

**園部：**同感です。私は前職からの習慣で、上司にお話をするときは周到に準備をしなくてはと身構えていたのですが、現実にはそこまでかしこまらず話すことができます。

**副市長：**僕がいた30年前の市役所と今とは全然違って、**組織がフラット**になったね。例えば、当時は部長と主事職員との間にはもっと距離があったと思う。それから、**国立市の特徴は、若くして昇任して責任あるポジションに就ける**こと。やりたいと思って、それだけの実力を持っていて、やり遂げられる人がチームのリーダーになれることは本当に重要なんだと思う。

### 国立市の昇任制度

国立市では、赤尾課長補佐や大西係長のよう、若くして役職者として活躍している職員が増えています。

優秀でやる気のある職員が活躍できるような環境を整え、組織の活性化を推進しています。制度の詳細は募集要項に記載しています。

## 仕事の内容・やりがい

現在の仕事内容や、やりがいについて教えてください。

**大西：**課税課の仕事は、正しく行って当然という業務です。私が窓口で接する市民は、何かしら困ったことがあり来庁されている方々です。税の話しながら、**背景にどんな問題が隠れているのか**考え、必要に応じて他部署につなぐこともあります。課税の業務自体と、そのように**市民の生活課題の解決**に役立てることがあると、やりがいを感じます。

**鈴木：**私の配属されている秘書係は、理事者（市長・副市長）のスケジュール管理が主な業務なので、おふたりの予定が滞りなく進むように調整しています。市民の方から直接お電話を受ける機会もあるのですが、どうしてもご要望に応えられないケースもあります。そのようなときには、すべては叶えられずとも、極力ご意向に沿った対応ができるよう考えて、代替案等をご案内しています。後日お礼の連絡をいただいたりすると、「お役に立てたかな？」と嬉しい気持ちになります。

**石川：**自分は昨年度まで社会福祉協議会へ派遣で行かせていただいていた。その際、地域の方々との距離がとても近く、市民と一緒に問題解決していくような仕事が多く、とてもやりがいを感じることができた3年間で、自分が公務員としてやりたかったことを再認識するきっかけになりました。今年度市役所へ帰任し、今は生活保護のケースワーカーとして、**困っている市民の課題解決**の役に立てることにやりがいを感じ、モチベーションを高く日々の業務に取り組むことができます。

**副市長：**ケースワーカーの仕事は、ものすごく深いよね。2つとして同じケースは存在しないところ、自分の頭で色んな制度を駆使して組み立てて。それで住民が喜んでくれることがあれば、それはやりがいを感じられることだと思う。

**石川：**派遣で外に出していただいたことで、国立市役所のことを客観的に見ることができるようになったというのを感じます。良いところはそのまま伸ばし、課題はできることから解決の糸口を見つけていく。今まで気づけなかったことにたくさん気付けるようになり、本当に良い経験ができたと思っています。

### 職員派遣とは？

国立市役所の職員を、他の機関や国・都・自治体へ派遣する制度があります。人事交流を目的としたものや、被災地派遣など、目的や行先は様々です。

国立市を代表して派遣された職員が、派遣先で習得した知識や経験を取り入れ、国立市の行政運営に活かしています。

**赤尾**：自分は厚生労働省に派遣に出ていた経験があります。帰任後は児童青少年課に配属となり、窓口で人と話せることがうれしかったですね。業務は忙しかったですが、**市民と話しながら問題解決**していくところにやりがいを感じていました。また、保育園の誘致など、なかなか出来ない経験ができました。その際は反対意見も多く、心が折れそうになったこともありました。やり遂げた際の達成感は格別でした。

**副市長**：例えば、公共施設の設置にあたっては周辺の住民の方々から不安の声や反対の意見をいただいたりする。しかし、丁寧な話し合いを続けて、最終的には理解をいただくことができる。今でも、当時の方々とお会いすると、ある種の共感や信頼を感じたりする。うれしいですね。こういうことが体験として積み重なっていくんだよね。苦労しただけのものが後から返ってきて、ここにある種の喜びを感じることができる。無駄になる仕事はひとつもなくて、みんな試行錯誤しているのは成長の過程なんだよね。

**赤尾**：現在の職員課での業務は、直接市民と関わるものではありませんが、職員の仕事やその家族の生活を支える基盤となる、波及効果の大きな仕事だと思っています。**自分の仕事の先に何があるかを意識**すると、やりがいを感じやすくなると思っています。

今年入職したおふたりはいかがですか？

**岩崎**：生き物が好きなので、仕事で外に出て、自然と触れられることが楽しくて仕方ないです。また、**自分がした仕事によって市民が楽しんでいる姿を見られると本当にうれしい**ですね。先ほどお話しした通り、今日も、自分の出した噴水で子供が遊んでいるのを見ることができました。

**園部**：私は文書法制係で議会事務に係る書類作成を担当しています。入職直後から他課や管理職の方とやりとりする機会が多く、緊張しましたが、徐々に慣れてきました。内部管理の仕事は、やりがいを感じにくいと思われがちですが、**自分ができることは何か**を常に考えています。たとえば、他の部署の方にお話を持って行く際には、内容を整理してから伺うなど、きちんと準備す

ることを心掛けています。**業務が円滑に進むことが、最終的には市民の役に立つこと**だと思うので、そのために自分ができることを意識しています。

**副市長**：市役所の仕事はこれからの時代、ますます社会の根幹的で中心的な仕事になっていくと思う。**生活者の暮らしに一番近いところで仕事ができる**なんて、やりがいにあふれているよね。民間企業に25年間勤めてから市役所に戻ってきて、やっぱりこんなに素晴らしい仕事はないって改めて思うよ。それに、色んな人と関わる中で、自分の人間性が高まるよね。そういう意味では常に人間修養の場にいると感じるよね。

## ワークライフバランス

ワークライフバランスについても聞いてみたいですよ。

**大西**：係長に昇任した時期と出産の時期が重なり、家庭と仕事をどのように両立していくべきか、いつも考えています。同時に、自分が公務員としてやりたいことを考え直す機会になっていて、初心に戻る必要も感じています。

**赤尾**：初心に戻るという意味では、今回、入職されたばかりの職員と話す場となりましたが、園部さんはどのように感じていますか？

**園部**：私の持つ印象としては、課内の業務でも、担当分けがハッキリされていると感じます。分業されすぎると、負担が偏ったり、休みがとりにくくなったりするのかな？と、思います。

**鈴木**：そうですね。隣の係が忙しそうにしているから手伝いたいと思っても、業務の権限がなかったりして、私自身ももどかしい思いをしたことがあります。

**大西**：こういった様々な意見を取り入れることで、みんなが働きやすい環境が作られていくと思います。職員の年齢構成や男女比率も変化していて、子育てをしながら組織の中核を担う職員も増えています。**色々なバックグラウンドを持つ方に入職していただいて、どんどん新しいアイデアを取り入れられる**といいと思います。



## ワークライフバランスへの取り組み

国立市では、誰もが働きやすい職場づくりのため、様々な取り組みを推進しています。

### 時間外勤務削減

職員の健康維持のため、時間外勤務の削減を推進しています。各種取組の結果、この数年で時間外勤務時間は連続で減少しています。

### 男性職員の育休取得推進

すべての職員が家庭と仕事を両立して生き生きと働くことができるよう、組織全体で、子育て世代の職員をサポートしていきます。

### 女性活躍推進

性別に関わらず誰もが能力を発揮して活躍できる職場づくりを推進しています。アクションプランに基づき継続的に検討を進めています。

## おわりに 受験生へのメッセージ

受験生へのメッセージをお願いします。

**赤尾：**小さい国立市だからこそ、市民とダイレクトに接しながら、幅広くダイナミックに、そして「オールくにたち」で仕事ができます！

「人の役に立つ」ことを文字どおりに実現できる職場です。熱意のある皆様のご応募をお待ちしています。

**大西：**様々な人と接する機会の多い職員自身が色々な経験や環境にあることで、最善の仕事ができると思っています。ぜひ、みなさんの経験を生かしてください！

**鈴木：**国立市はちいさな街ですが、幅広い分野の業務に携われます。他部署の職員と連携できるアットホームな環境です。一緒にお仕事ができるのを楽しみにしています！

**石川：**国立市は小さい規模の自治体ですが、それゆえ市民との距離が近く、熱い志を持った職員がたくさんいます。私たちと一緒に充実した職業人生を送りませんか？ぜひ、お待ちしております。

**岩崎：**地方公務員は、市民の方と近い距離で仕事ができる分、自分の仕事が市民の方のお役に立てている、と実感できる機会が多くあります。大変なこともありますが、とてもやりがいのある仕事です！一緒にがんばりましょう！

**園部：**仕事はやってみないと分からないことも多いですが、私たちの仕事は全て市民の方に繋がると思っていますので、今思い描くご自身の思いを全力で伝えられるよう、ご体調には気を付けて笑顔でチャレンジしてください。一緒に働ける日を楽しみにしています。



**皆様からの応募をお待ちしています**



## おまけ 1日のスケジュール

職員はどのように1日を過ごしているのでしょうか？

今回お話を聞いた職員に、「ある日のタイムスケジュール」を聞いてみました。



	赤尾	大西	鈴木
8:30	メールチェック	1日のスケジュール組み立て、メール等のチェック	メールチェック、理事者と本日の予定確認
9:00	職員課分・ 新型コロナウイルス対応の振り返り	他市町村からの調査回答の作成	東京都市長会からの調査回答資料作成
9:30			栄典・表彰事務
10:00	職員給与支払い関係事務	課税関係実態調査	業者との打ち合わせ（国立新書）
10:30			会議の会場設営
11:00			庁内職員との会議（書記）
11:30	昼休憩（自席で出前）	昼の窓口当番	昼休憩（至福のひと時）
12:00	決裁・合議	昼休憩	会場設営（理事者への来客）
13:00			理事者への来客対応
13:30	東京都からの調査回答	課税内容調査回答	理事者の予定の調整
14:00			女性WGミーティング
14:30	他課からの依頼事項（人件費決算関係）の対応	課税資料入力・確認作業	理事者の予定に必要な資料作成
15:00			理事者と明日の予定確認
15:30	採用面接についての事前打ち合わせ	メールチェック・翌日準備	配車依頼
16:00			議会関係資料の突合
16:30	メールチェック・対応		メールチェック
17:00			
17:15			

	石川	岩崎	園部
8:30	本日の予定確認・メールチェック	メール・掲示板チェック、本日の予定確認	メール・掲示板・回覧チェック、本日の予定確認
9:00	窓口・電話対応・事務処理	大学通り緑地帯の維持管理作業 （草刈、花植え、樹木の生育状況 確認等）	請求書処理
9:30			議会関係決裁書等作成
10:00			郵送文書の收受・仕分け
10:30			庶務（備品発注等）
11:00	利用者様との面談	業者に大学通り樹木の剪定を依頼	昼休憩（同期とランチ）
11:30	利用者様との面談	公園利用申請者への許可証発行業務	例規作成・作成文書確認
12:00			例規読み合わせ
13:00	窓口対応・電話対応・事務処理 （生活保護費支給のための処理）	苦情対応 （公園のごみ回収・樹木剪定・ 草刈等）	議会関係案件一覧作成
13:30			他課依頼の物品請求書処理・データ入力
14:00	ケース記録・調書作成事務 （時間外へ続く・・・）	市民を交えてイベントに関する会議	契約関係決裁書作成
14:30			明日以降の予定確認
15:00	ケース記録・調書作成事務 （時間外へ続く・・・）	メールチェック・翌日準備	
15:30			
16:00			
16:30			
17:00			
17:15			